

生活単元学習 授業構想

指導者 広島県立尾道特別支援学校
教諭 高盛 大輔

(はじめに)

本単元は、高盛大輔（令和7年度広島県立教育センター教員長期研修）：「知的障害のある生徒の自己理解能力を育成するキャリア教育の実践－模擬株式会社「おのとっく」の活動における「足あとシート」の活用を通して－」（<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/641450.pdf>）において実践したものである。別添資料（<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/641451.pdf>）についても、本授業構想と合わせて参照されたい。

1 単元名 「おのとっく 地域に開かれた学校づくり」

2 単元について

○ 単元観

本単元は、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 職業・家庭 1段階「職業分野」「A 職業生活」「ア 働くことの意義」の「(イ) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くこと。」及び「イ 職業」の「(ア) ④作業の課題がわかり、使用する道具等の扱いに慣れること。」の内容を中心に設定した。また、振り返りの場面において、教師や友だち、地域の方の言葉を受け、互いに感じたことや気付いたことを伝え合う活動については、同学習指導要領 国語 1段階「A 聞くこと・話すこと」の「オ 相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつこと。」「B 書くこと」の「ア 見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめること。」の内容を踏まえて設定した。

本単元では、生徒が模擬株式会社「おのとっく」の“社員”として行う清掃活動を通して、使用する道具の扱い方や安全上の留意事項等の基礎的な知識や技能を身に付けるとともに、自己分析を基に作業分担を行うことで自分の役割を自覚しながら、自分の良さや得意なことが人や社会の役に立つ経験を積み、よりよい職業生活へ繋げていくことをねらいとしている。また、自己分析と他者からのフィードバックを合わせた振り返りを行うことで、自己有用感を高め、自己理解を深めることができると考える。

単元全体を通して、生徒は、学校で学んだことや、自己分析で見つけた自分の良さや得意なことを基に役割を分担して活動するため、社会的・職業的な自立に向けて主体的に取り組めると考える。また、繰り返し自己分析を行うことで、新たな自分の良さや得意なことを見つけ、成長し続ける態度を身に付けることができると同時に、活動の意義を自分事として捉えられるようになり、次の活動へ挑戦する姿を育むことができるのではないかと考える。このことにより、キャリア発達を促すことにも繋がると考える。

○ 指導観

本単元では、模擬株式会社「おのとっく」での清掃活動を行う中で、生徒の自己理解を促す「足あとシート」を使用した自己分析と他者フィードバックの繰り返しにより、自分の良さや得意なことを活動に関連付けられるよう指導する。この「足あとシート」は、活動前の自己分析（好きなこと、苦手なこと）→自己分析に基づいた活動の目標設定→活動後の自己分析（好きなこと、苦手なこと等）→他者からのフ

フィードバック→次の活動に繋げる振り返り、という一連のサイクルを繰り返すことで、自分の良さや得意なことを蓄積しながら自己理解を深め、それらを他の活動に生かせるように設計されたワークシートである（別紙参照）。実践的・体験的な活動と「足あとシート」を組み合わせることで、指示を待つような受け身の学習姿勢から、自分の力を生かして主体的に活動する姿勢になることを目指し、自立的な生活を営む力の育成に繋げたい。

第1次では、「おのとっく」が受ける校内清掃の依頼に対する活動を行う。まず、活動前の自己分析によって見つけた自分の良さや得意なことを「足あとシート」に整理する。依頼された作業を分担する際には、作業工程における自分の分担や、作業全体の中で担う自分の役割に気付くように、作業全体の内容を事前に確認する。また、自分の良さや得意なことを基に生徒自身で作業を選択できるようにする。このように依頼内容と自己分析を関連付けて作業の分担をすることで、生徒は活動の目的や見通しをもつことができ、役割を意識して取り組むことができる。また、作業の分担を決める場面における支援としては、生徒が自覚していない良さや得意なこと、これまでの成功体験を踏まえた肯定的な言葉掛けを行い、生徒が自分の力を発揮しやすい役割を自ら選択できるようにすることが考えられる。次に、活動中は、生徒が担当の作業を成し遂げられるよう、生徒が気付いていない汚れ等について自分で気付けるように言葉掛けをする。そして、友だちや教師との関わりを通して、他者からのフィードバックを得られるようにする。自分の役割を果たしたことに對して肯定的な評価や感謝の言葉をかけられる経験は、生徒が達成感を基盤とし、作業を通して他者の役に立とうとする気持ちを育む機会となる。活動後の振り返りでは、活動の中でできたことや気付いたことを基に、再度自己分析したことを「足あとシート」に整理する。さらに、友だちや教師、依頼者からのコメント欄に書かれたフィードバックを見て、自覚していなかった自分の良さや得意なことに気付く機会をつくる。これにより、自分の行動に自信がもてるようになったり、苦手なことに挑戦する意欲をもてるようになったりすることが期待される。最後に、自己分析と他者からのフィードバックを基に、改めて自分の良さや得意なことを整理し、次の活動で頑張りたいこととして「足あとシート」に記録する。

第2次では、第1次で「足あとシート」に記録した自分の良さや得意なことを踏まえて、「おのとっく」が依頼を受ける生徒にとって身近な場所での地域（校外）清掃を活動として扱う。第1次と同様に、「足あとシート」を使用して自己理解を深める一連のサイクルをまわす。本時の活動前の自己分析や作業を選択する際は、生徒が前回までの自己分析や他者からのフィードバックを参考にしながら決められるようにする。このとき、生徒が自覚している自分の良さや得意なことに加え、苦手を克服しようと挑戦する気持ちを後押しするような言葉掛けの支援を行う。活動中は、友だちや教師に加えて地域（校外）の方と関わることで、校内での活動時に比べて、他者の役に立とうとする気持ちがより顕著になることが期待される。活動後の振り返りや自己分析において、前回よりも自己理解の深まりや新たな気付きがある場合は、その変容を自覚させたり、自立的に成長し続ける態度を身に付ける意欲に繋げたりするための対話をする。

生徒同士のフィードバックは、一緒に活動する他の生徒の様子を見て、よかったことや頑張っていたことを伝え合う時間として振り返りの中に設定する。他の生徒への関心をもたせることで、自分から協力して活動しようとする意識や他者を思いやる気持ちの醸成に繋げていく。

本授業構想は、模擬株式会社「おのとっく」での清掃活動を全2次で構成しているが、他の活動も含めて「足あとシート」を継続的に使用することで、生徒の自己理解の蓄積と深化が進み、キャリア教育における基礎的・汎用的能力のうちの「自己理解・自己管理能力」を起点としたキャリア発達を促すことが期待される。

3 単元の目標

- 職業に対する関心を高め、清掃活動に必要な道具の扱い方や安全確認等の基礎的な知識や技能を身に付ける。(知識及び技能)
- 活動前後の自己分析や他者からのフィードバックに基づく自己理解を通して自覚した自らの役割を、体験的な活動にどのように生かすかを考え、言葉や記述で表現できる。(思考力、判断力、表現力等)
- 地域のニーズを知り、模擬株式会社「おのとっく」の一員としての活動を通して、よりよい職業生活の実現に向けて、活動を工夫できる。(学びに向かう力、人間力等)

4 単元計画 (全4時間)

次	時間	学習活動	評価			
			知	思	学	評価規準
1	2時間	・自分の良さや得意なことを見付ける。		○		・自己分析や他者からのフィードバックを基に、自分の好きなことや苦手なことを書いたり、表現したりしている。
		・「おのとっく」の活動として、校内清掃を行う。	○		◎	・清掃活動に必要な道具の扱い方や安全上の留意事項を理解している。 ・他の生徒と協力し、よりよく作業するために工夫しようとしている。
		・活動の振り返りをし、次に頑張りたいことを考える。		◎	○	・自己理解をもとに自分の役割を選択し、活動の目標をたてることができる。 ・「おのとっく」の一員としての自覚をもち、自身の役割を成し遂げようとしている。
2	2時間	・前回の活動や記録を踏まえ、自分の良さや得意なことを改めて整理する。		○		・これまでの活動を参考に、自分の好きなことや苦手なことを書いたり、表現したりしている。
		・「おのとっく」の活動として、地域清掃を行う。	○		◎	・校外で活動する際の安全上の留意事項を理解している。 ・社会の役に立とうと、よりよい方法を工夫しようとしている。
		・活動の振り返りをし、次に頑張りたいことを考える。		◎	○	・自己理解を深め、成長し続けようとする目標を設定することができる。 ・よりよい職業生活を目指して、地域に貢献しようとしている。

5 授業案 (3 / 4、4 / 4分)

学習活動	指導上の留意点
<p>①始めのあいさつをする。</p> <p>②本時の目標と活動を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標 [校外の施設] からの依頼を受けて、自分の良さや得意なことを生かしながら清掃に取り組むことができる。 ・ 依頼者からのメッセージ動画と依頼文を確認する。 <p>③前回の振り返りを参考に自己分析 (好きなこと、苦手なこと等) を行い、自分の良さや得意なことを整理し、「足あとシート」に記入する。</p> <p>④自己分析を基に担当する作業を選択し、「足あとシート」に記入する。</p> <p>⑤活動の目標を、自己分析と担当作業を基に「足あとシート」に記入し、活動前の心境をイラストで選択する。</p> <p>⑥活動場所に移動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 依頼者にあいさつをする。 ・ 靴を袋に入れ、荷物をまとめて置く。 	<p>○日直に注目させる。</p> <p>○姿勢を正してあいさつをさせる。</p> <p>○依頼内容や分担する作業が分かるように、ホワイトボードにイラストや文字で表にまとめる。</p> <p>○生徒との対話の中で、これまでの活動で頑張っていたことや熱心に取り組んでいたことを振り返り、自分の良さや得意なことに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><対話の例></p> <p>「前回の清掃活動のとき、廊下の隅まで雑巾がけできていたよね？丁寧に作業していたから、友だちもほめてくれたね。」</p> </div> <p>○生徒との対話は、生徒一人一人が自己理解を深め、主体的な意思形成に繋がるようにする。</p> <p>○生徒の自己分析を基に、良さや得意なことを生かし、主体的に活動できる作業を選択できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><対話の例></p> <p>「丁寧に作業できるから、ほうきでも隅々まできれいにできるかな？」</p> <p>「前回、友だちと協力して作業できたから、○○さんと一緒に頑張ってみる？」</p> </div> <p>○振り返りの場面で相互評価を行うため、他の生徒の目標を全体で共有する。</p> <p>○生徒の活動前の心境が、不安や恥ずかしい等の消極的なものであった場合、前向きに活動へ臨めるような言葉掛けを行う。</p> <p>○移動するときのルールや、準備物の確認をさせる。</p>

⑦清掃活動を始める。

⑧教室に移動する。

・ 依頼者にあいさつをする。

⑨活動の振り返り（できたこと、できなかったこと等）を「足あとシート」に記入し、活動後の心境をイラストで選択する。

⑩友だちの良いところや頑張っていたことを発表する。また、依頼者からのコメントも確認する。

⑪他者からのフィードバックを受けて、再度自分の良さや得意なことを確認し、次の活動で頑張りたいこととして「足あとシート」に記入する。

○道具の扱い方や安全上の留意事項等に注意させる。

○集めたごみに合わせて、ちりどりの位置や角度を変えることで集めやすくなることを言葉掛けする。

○ごみや汚れが残っている場合は、言葉掛けや指差しをして意識させる。

○生徒の注意が逸れた際には、再度活動へ意識を向けさせるようにする。

○掃除を行った場所にごみや汚れが残っていないか確認させる。

○移動するときのルールや、準備物の確認をさせる。

○活動後の生徒との対話や振り返りは、自己理解の変容や新たな自分に気付かせるために、自分の良さや得意なことを肯定的に捉えることができるようにする。

<対話の例>

「今日も丁寧に作業できたね。マットの下にあるごみに気付いて、自分から進んで作業してくれたね。」

「〇〇さんの作業の手が止まったとき、声をかけてくれていたね。そのあと一緒に協力しながら作業できていたね。」

○必要に応じて活動の様子を撮影した動画を見せながら振り返り、自分の良さや得意なことに気付かせる。

○他者からのフィードバックを肯定的に捉えられるようにする。

○客観的な評価を受けて気付いた自分の良さや得意なことがあれば、自己有用感を高めるような言葉掛けを行う。

○活動前と比較して、新たな自分の良さや得意なことが見つけられるようにする。

○生徒に自身の成長を自覚させながら、次の活動に向けて見通しがもてるように、頑張りたいことを考えさせる。

<p>⑩終わりのあいさつをする。</p>	<p><対話の例> 「依頼者の方が、手早く作業をしてくれて助かったって言ってくれたね。集中して作業することが得意なのかな？」 「今日は隅々までほうきで掃くために、自分なりに工夫していたね。雑巾がけでも工夫できそうなことはあるかな？」</p> <p>○日直に注目させる。 ○姿勢を正してあいさつをさせる。</p>
----------------------	---